



SERVICE INFO



LuK ギアボックス ツイン軸受アセンブリの診断 - 02T トランスミッション VAG

メーカー： フォルクスワーゲン

トランスミッションのタイプ：02T

部品番号： 462 0055 10

最新の表については、部品カタログを参照してください。

図に示す2つのトランスミッションシャフト軸受は、1枚の取付板に左右に並べられていることから、「眼鏡軸受」として知られています。

不具合が発生したツイン軸受取付板アセンブリの外側には破損の兆候は見られません。通常、トランスミッションは完璧に動作しているものの、小さなノイズ（ウィーンという音、ガタガタいう音、きしりなど）が発生します。

自動車メーカーは、以下の手順を使用して、ツイン軸受取付板アセンブリを確認することを推奨しています。

1. トランスミッションを、暖まるまで作動させます。
2. クラッチを入れ、トランスミッションをニュートラルにして、エンジン回転数を約 4000rpm まで高めます。
3. クラッチペダルを踏むと同時にエンジンを停止します。
4. トランスミッション入力軸を低速に切り替えたときにガタガタいう音が聞こえた場合、ツイン軸受取付板アセンブリに不具合があります。



ツイン軸受取付板アセンブリと 02T トランスミッションの針状ころ軸受

不具合が発生したツイン軸受取付板アセンブリでは摩擦が大きくなり、異常な高温になります。その結果、5速に入れられた針状ころ軸受が破損し、ギアが入らなくなることがあります。同様の現象は、5速にオイルが十分に供給されない場合にも発生する可能性があります。いずれの場合も、ケージが損傷し、針がシャフト周辺に飛散します。

自動車メーカーの仕様を順守してください！